

平成31年度 横浜ユーラシア文化館 企画展

装いの横浜チャイタウン－華僑女性の服飾史－

2019年4月13日（土）～6月30日（日）



李全英と友人たち 1941年 横浜 李全英氏所蔵



90年前の婚礼衣装

1929年 横浜 張雅齡氏所蔵

■展示趣旨■

横浜開港160周年を記念し、「服飾」の観点から横浜中華街の歴史と文化に迫る企画展を開催いたします。横浜では1859年の開港以来、中国系の人びとの暮らしが営まれてきました。日本では幕末・明治・大正・昭和・平成の時代であり、中国では清朝、中華民国・中華人民共和国の時代です。こうした歴史の流れは、人びとの装いにも変化をもたらしました。

現在、中国系女性の民族衣装と考えられている旗袍（チーパオ：チャイナドレス）は、1920年代に誕生した新しい衣装です。清朝が崩壊し中華民国が成立した新時代の中で、より活動的な服装を求めた女性たちは、ゆったりとしたワンピース型の新たな「旗袍」を生み出しました。当時の旗袍は、現在の体の線を強調するようなスタイルとは大きく異なりました。

本企画展では、旗袍の意外な歴史を紐解くとともに、横浜華僑女性の装いの変遷を、その衣装を身につけた人びとの横顔にも触れながら紹介します。装いは歴史であり、人生なのです。本企画展が国際都市横浜における多文化共生の理解進展に資すれば幸いです。

【会期】 2019年4月13日（土）～6月30日（日） 開館日数68日
＊4月29日（月・祝）、5月6日（月・祝）は開館。4月26日（金）、5月7日（火）は休館。

【会場】 横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、2階常設展示室（一部）

【入館料】 一般300円、小・中学生150円

【展示資料点数】浮世絵、歴史写真、1910年代から現在までの旗袍などの中国服と関連服飾品約170点。

【主催・共催 ほか】主催：横浜ユーラシア文化館 共催：横浜市教育局 協力：広岡今日子、横浜華僑婦人会、横浜華僑總會、横浜華僑総会、横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会、横浜中華街発展会協同組合 後援：朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、t v k、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、NHK 横浜放送局

■主な展示資料と展示の見どころ■

1 鮑家の母と娘 横浜 1920 年代後半 鮑啓東氏寄贈・横浜開港資料館所蔵

左の若い女性 は流行の「旗袍」を着、右の年配の女性 は伝統的なツーピース型の服。誕生した頃の旗袍は、ゆったりとしたワンピースで、現在のセクシーな形とはほど遠い。1920 年代に中国本土では女性の服装変化が起っていたが、その動きが横浜でも同時代的に進行していたことを示す貴重な一枚。

1



2 張陳卓華婚礼衣装（旗袍） 1929 年 張雅齡氏所蔵

1920 年代後半には、旗袍にレースのベールという中洋折衷のウェディング・スタイルがモダン・ガールの間で流行した。これはちょうど 90 年前の旗袍で、当時の流行の最先端の婚礼衣装であると同時に、日本の華僑社会ならではの特長も備えた一着。裾の銀モール飾りは、本来、広東系の服飾文化であり、花嫁の一家が属する寧波系の服装文化には存在しない。海外にある華僑社会ゆえに生み出された、文化融合の象徴といえる。

2



3 三世代の女性が着た婚礼衣装 1961 年製 李艶薇氏所蔵

1910 年代から中国では「褂」とよばれるサテンの黒と赤のツーピース型の礼服が普及し、同時代的に横浜にも伝わったと考えられる。これは 1961 年、1983 年、2005 年と母・娘・孫の三代の女性が婚礼に際して着た衣装であり、横浜華僑社会における伝統の継承を伝える一着。

4 関帝廟前にて 1956 年 6 月 21 日 広瀬始親氏撮影・寄贈 横浜開港資料館所蔵

手前の年配の女性たちはサンダル履きに旗袍。晴れ着の「ドレス」になるにつれて、動きやすさよりも見栄えが重視され、体の線を強調した服へと変化していった。「旗袍」が「ドレス」となる以前、普段着として着られていた様子を示す写真。

3



4



5 1930年代の旗袍 広岡今日子氏所蔵

5

中国服コレクターである広岡氏のコレクションから、今回の展示では1910年代から40年代までの中国服・関連服飾品など展示する。広岡コレクションは、中国本国での女性の服飾変遷を理解できる貴重なコレクション。写真は1930年代の旗袍。裏地にネルがはられた冬物なのに半袖であるのは、おしゃれにかける女性たちの執念と意地の現れか。



■展示構成■

第Ⅰ部 横浜華僑女性の服飾変遷

第Ⅱ部 20世紀の中国服—旗袍（チーパオ）の誕生と変遷

第Ⅲ部 横浜中華街の旗袍

トピックコーナー 母の肖像、婚礼衣装、ブラック・フォーマル、中華街の旗袍仕立て店

【関連企画】

（1）ギャラリートーク 30分程度

4月20日（土） 15:00～ / 5月5日（日） 17:00～ / 5月24日（金） 15:00～
6月28日（金） 15:00～ 参加費：観覧料のみ

（2）企画展関連講演会

日時：6月9日（日）14:00～

場所：横浜情報文化センター6階 情文ホール

講演者：広岡 今日子「旗袍の誕生と変遷」（仮題）

伊藤 泉美「横浜華僑女性の服飾変遷」（仮題）

受講料：500円

定員：200名（事前申込制、申込多数の場合は抽選）

申し込み方法：

◆往復はがき

受講人数、氏名（フリガナ）、住所、電話番号をご記入の上、下記宛先までお送り下さい。

宛先

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 横浜ユーラシア文化館「展示関連講演会」係

◆メール

お申し込みフォームの空欄すべてにご記入の上、ご用件欄に「展示関連講演会」参加ご希望の旨を明記してご送信ください。締め切り後メールにて連絡します。

<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/index.html>

申込締切：5月26日（日）必着

（3）ワークショップ「中国結びにチャレンジ！」「中国系の衣装を体験！」

会期中の土曜日・日曜日・祝日に開催。参加無料。

お問合せ先			
横浜ユーラシア文化館	副館長 伊藤 泉美（展示）	Tel 045-663-2465	
	神谷 量子（広報）	Tel 045-663-2424	